

「農道整備工事を通じて」

「令和4年度 畑地帯総合整備（担い手支援）箱根南西麓地区農道1工事」

地区名：三島地区

会社名：加和太建設株式会社

氏名：現場代理人 児玉哲弥

CPDS 番号 （194999）

① 工事概要

工事名：令和4年度

畑地帯総合整備（担い手支援）箱根南西麓地区農道1工事

発注者：静岡県 東部農林事務所長

工事箇所：静岡県三島市川原ヶ谷地内

工期：令和4年6月25日から令和5年1月31日

内容：本工事は、三島市箱根西麓地区にて、農道整備を行う工事である。

② . はじめに

この工事は、既存の農道（幅員 $w=2.5\text{m}$ ）を拡幅し車道幅員 $3.0\sim 4.0\text{m}$ の道路へ整備する農道工事です。第1号幹線農道 $w=4.0\text{m}$ アスファルト舗装（全幅 4.5m ）、第2号支線農道 $w=3.0\text{m}$ コンクリート舗装（全幅 3.5m ）、第3号支線農道 $w=3.0\text{m}$ アスファルト舗装（全幅 3.5m ）と3路線あり施工箇所が各所に点在していました。すべての路線は継続路線であり、途中まで工事が進められている状態です。第1号幹線農道は続きを 90m 延長して継続し、第2号支線農道と第3号支線農道は、途中の未施工部分の 113m （第2号支線農道）、 82m （第3号支線農道）をつなげて完成する工事です。



③ . 問題点

- 1) 前年度工事の試験実施結果から路床改良工（セメント安定処理）が設計されていて、施工箇所の沿線は畑である。道路境界際まで作物が植えてあり、セメントの飛散により農作物への影響が懸念された。
- 2) 工事箇所が点在しており、各路線通行止めで作業を行うため、耕作者さんへの通行ルートの確保が必須であった。
- 3) 工事箇所の沿線は畑であり、収穫時期が違ういろいろな作物を耕作している。収穫時期に畑まで車が進入し収穫する必要があった。
- 4) 水路兼用農道のため、降雨時に雨水が集中して流れてくる。舗装施工前までは、路盤材等が流される可能性があった。また、畑地帯のため土砂の流出も予測された。

第1号幹線農道着工前



第2号支線農道着工前①



第2号支線農道着工前②



第3号支線農道着工前



④ . 対応策

1) 飛散防止対策

セメント系固化材に発塵抑制型固化材のタフロックエース（六価クロム溶出低減型）を採用した。施工箇所では畑側に土木安定シート（＃300）W=1.5mを張り養生を行った。結果セメントの飛散を防ぐことができ農作物への影響はなかった。

2) 通行ルートの確保

施工箇所ごと事前に回覧板を回してもらい、地元耕作者さんへ周知した。施工箇所には、地図入りの迂回路看板を設置して、地元車両以外でも分かるように案内をした。また、現場では積極的に耕作者さんとコミュニケーションをとり、世間話から畑に来る時期、時間を聞き安全に畑まで来られるように配慮した。

3) 収穫時期の運搬車両

地元説明会開催時に参加された耕作者・地権者さんに聞きとり調査をおこない、収穫時期、搬入車両等を確認した。出席されなかった耕作者・地権者さんには個別に連絡を取り確認した。調査結果により、第2号支線農道①→第3号支線農道→第2号支線農道②→第1号幹線農道と収穫時期を外した工程を組み、収穫に影響を及ぼすことなく施工を終える事が出来た。

4) 降雨対策

降雨予報時に土のうを設置して直接雨水が流れないように水切りを行った。結果路盤材等の流出はなく排水された。また、工事範囲外で土砂の流出があったが、土砂の撤去、法面の修復に協力した。

飛散防止対策



通行ルートの確保



降雨対策



降雨対策



⑤ . 終わりに

農村地域では都市部に比べ自家用自動車の利用が必須となっている。近年、農業生産の機械化、農産物流の広域化により未整備地域では負担がより大きく、高齢者には更に負担になるであろうと思う。今回の工事を通じて耕作者さんとコミュニケーションをとる中で、高齢化後継者問題を目の当たりにした。大半の耕作者さんが高齢であり若者は数人であった。私と同年代（40代後半）でも若者の部類に入るのであろう環境だ。建設業と同様に農業も担い手不足が深刻な問題だと感じる。今回のような担い手支援事業のハード面からの整備は急務であると同時に必要不可欠であると感じた。また、今回箱根西麓地区にある三島市立坂小学校の1・2年生を対象に「農道整備とは何か」、「ハツカダイコンの種植え・

収穫」の特別授業、農業体験を行わせていただいた。教室で行った座学では建設業者の関り、農道整備後の耕作者さんの働きやすさ、発注者事業の説明、みんな真剣に聞いて積極的に質問もしてくれました。学校近くの畑を借地して行った農業体験では、収穫は残念ながらできませんでしたが、植え、その後の報告会では、たくさんの笑顔が見られました。この事をきっかけに10年後、15年後に1人でも農業、建設業に携わってもらえる人がいれば幸いです。

第1号幹線農道完成



第2号支線農道①完成



第2号支線農道②完成



第3号支線農道完成



地元小学校での特別授業



地元小学校での農業体験

